

問 産婦人科の分娩機能再開について現在の進捗状況を伺う。

答 県の感染警戒レベル引き下げを受け関係機関との面会を行っているが、医師のほかにスタッフの確保や経営面の問題など容易には解決できない課題があると認識している。

新型コロナウイルスワクチン接種について

問 ワクチン接種後に重篤化や死亡した事例もあることから、5歳から11歳の市民に対する接種はすぐに開始せずに慎重になるべきと思うが考えを伺う。

答 12歳未満の小児に対するワクチン接種については、厚生労働省では早ければ2月頃から開始する可能性があるが、接種による予防効果が期待される一方で、接種後の副反応等も含め保護者から検討していたく必要がある。引き続き、情報発信に努めるとともに接種を希望する方が安全・安心に接種を受けられるよう準備を進めていく。

十和田地区のあり方について

問 商店の減少や高校の統廃合等によりまちの衰退が懸念されるが、その対策と起業支援や新たな施設の建設の考えがあるか伺う。

答 主要な幹線道路等を有し広域的な連携と交流を促進する地域として、高いポテンシャルを生かすまちづくりが必要ことから、産業振興では鹿角工業団地やIC周辺への企業誘致を進めるほか、地元企業への設備投資支援など工業の集積を促進していく。また新たな施設整備では十和田図書館と十和田分署の更新を計画している。

質問した項目
 ■産婦人科について
 ■鹿角市におけるスポーツ大会について
 ■災害対策について
 ■新型コロナウイルスワクチン接種について
 ■十和田地区のあり方について



録画配信はこちらから

湯瀬 弘充 議員
 （鹿真会・公明）



問 米価下落に伴う農家支援策として、苗・種もみ・肥料の購入に対し助成できないか伺う。

答 国や県の動向を踏まえながら、次期作に向けた対策を検討する。

企業誘致について

問 事務系の企業誘致が必要だと考えるが県と連携して誘致できないか伺う。

答 秋田県企業誘致推進協議会等と連携を図りながら進めているところだが、学生やUターン者のニーズを把握し、今後は若者の雇用拡大が見込まれる情報関連産業などの積極的な誘致活動を行う。

質問した項目
 ■農業政策について
 ■企業誘致について
 ■商店街活性化対策について
 ■買い物弱者の救済対策について

買い物弱者の救済対策について

問 移動販売車が事業を継続できるような助成金の交付を検討できないか伺う。

答 生活援助ボラ

ンティアや高齢者福祉タクシー券による支援

を実施していることから現時点での助成は考えていないが、拡充の必要性については総合的に判断していく。

商店街活性化対策について

問 取り組みに関する内容と効果について伺う。

答 商店街の活性化を図る上で最も重要なのは、既存の個々の店舗の魅力向上と考え、秋田県よろず支援拠点及びかづの商工会との連携により「0円店舗改善」の取り組みを進め4店舗が実施している。今年3月にはかづの商工会・小坂町と共同で改正小規模事業者支援法に基づく経営発達支援計画を定め商店街の活性化につなげていくこととしている。

児玉 悦朗 議員
 （鹿真会・公明）



録画配信はこちらから